

史料紹介・上杉憲房・憲寛文書集

黒田基樹

はしがき

本文書集は、前回の上杉顕定文書集に続き、顕定の養子上杉憲房、その養子憲寛の発給文書・受給文書を集成し、編年順に配列したものである。ここでは上杉憲房の発給文書二八点、受給文書三点、上杉憲寛の発給文書五点、受給文書一点、計三七点を集成し、その他、家宰・宿老・奉行の奉書・副状一四点を参考文書としてあわせて収録した。なお憲房の受給文書のうち、顕定と連名で宛てられているものについては、すでに顕定文書集に収録済みであるため、ここでは省略した。

収録にあたっては、前回と同じく、文書ごとに通番を付し、発給文書については宛名と文書形式によって示し、受給文書については発給者と文書形式によって示した。また出典史料名については一般的な史料名を採用した。翻刻形式についても、一般的な史料集に準じるかたちをとり、注記については人名・年代など、必要最小限のものにとどめた。

なお一部の文書については、写真版による確認をとれていないものがある。今後それらの確認作業をすすめていく必要があるが、ここでは現時点での作業成果としてまとめておくことにしたい。これによって、戦国初期の関東上杉氏研究の進展に、多少とも寄与することができれば幸いである。

参考1 鏝阿寺供僧宛長尾景春書状（鏝阿寺文書）

当陣祈祷之事、自^{（上杉憲房）}屋形被申候、別而御懇祈、御為公私、可為簡要候、於本意上者、新寄進之事、内々相心得可申由候、恐々謹言、

^{（文明十三年カ）} 四月十五日 ^{（長尾）} 右衛門尉景春（花押）

謹上 鏝阿寺供僧御中

1 鏝阿寺衆僧宛書状（鏝阿寺文書）

祈祷之事申候処、被修不動護摩供一七ヶ日、百座一衆同心有精誠、卷数一枝給候、

目出忝存候，定具自長尾右衛門尉方可申候，恐々謹言，

(文明十三年カ)
四月廿八日 憲房（花押1）

鑊阿寺衆僧御中

参考2 不動院宛長尾景春副状（鑊阿寺文書）

(懸紙上書)

↑

長尾

謹上 不動院 右衛門尉景春」

祈禱之事被申候処，一衆御同心，被修不動護摩供百座候，仍卷数給候，令披露候処，祝着之由候，於本意上，新寄進之事被相定候，弥御祈念尤候，恐々謹言，

(文明十三年カ) (長尾)
四月廿八日 右衛門尉景春（花押）

謹上 不動院

2 発知孫三郎宛書状（発知文書）

同名三郎右衛門尉方へ切紙，具披閱，自関東行之時節，涯分可励忠節旨，被露紙面候，尤簡要候，委曲自三郎右衛門尉方可被申越候，恐々謹言，

(永正六年)
六月七日 憲房（花押2）

発知孫三郎殿

3 鏑木兵部少輔宛書状写（御府内備考続編二）

板鼻之儀，去月二日令落居上，越州之事火急之様申来間，同六日至于当地白井出馬之处，無程無正体成来候，無念千万候，此上者惣調儀相催付，成行外不可有之候，巨細者三富新左衛門尉可申越候，恐々謹言，

(永正六年)
六月九日 憲房判

鏑木兵部少輔殿

4 大森式部大輔入道宛書状写（相州文書足柄上郡）

如来札，新年之佳慶雖事旧候，更不可有際限候，仍安合并蜜柑給候，目出忻悦之至候，祝詞猶期面之時候，恐々謹言，

正月廿日 藤原憲房（花押2）

(定頼カ)
謹上 大森式部大輔入道殿

*本文書は，花押2段階のものであるため，ここに収録する。永正五年もしくは同六年のものである。

5 久下信濃守宛感状（榊原文書）

就今度屋形当国進発，于今永々在陣，感入由，彼書状委細披見，殊可被勤簾役段，被露書中候，定可為本望候，弥被励忠信候者，簡要候，恐々謹言，

（永正六年）
十月五日 憲房（花押3）

久下信濃守殿

6 発知六郎右衛門尉宛感状写（歴代古案三）

去々年以来，別而走廻，於在々所々忠節異于他之由，長尾新六注進^{（房長）}，感入候，国本意候上，有勇様ニ可相計候，恐々謹言，

（永正六年）
十月十七日 憲房

発知六郎右衛門尉殿

7 発知六郎右衛門尉宛感状（発知文書）

入国以來於所々戦功，殊于今在陣，感悦候，弥可被励忠節事簡要候，恐々謹言，

（永正六年）
十一月九日 憲房（花押3）

発知六郎右衛門尉殿

8 山吉孫五郎宛書状写（諸家古案）

已前兩度如申遣候，此時抽忠信候ハ、，恩賞之事ハ可任望候，委細石川駿河守入道申越候也，

（永正七年力）
二月十七日 憲房

山吉孫五郎殿

9 発知六郎右衛門尉宛感状（発知文書）

去二於紙屋庄深沢，同七苅羽郡荒浜一戦之時，敵数多討取，粉骨之段，長尾肥前守注進^{（顯景）}，各動無是非感入候，弥可被励戦功候，恐々謹言，

（永正七年）
四月十九日 憲房（花押3）

発知六郎右衛門尉殿

10 発知六郎右衛門尉宛感状（発知文書）

可諄入国以來，於在々所々励粉骨之条，感心候，仍魚沼郡槻岡分之事，知行不可有相違候，弥可抽忠功候，謹言，

(永正七年)
四月廿六日 憲房(花押3)

発知六郎右衛門尉殿

参考3 発知六郎右衛門尉宛某憲正施行状(発知文書)

(上杉顯定)
告峯様御進発以来、於在々所々被抽粉骨条、魚沼郡藪神之内月岡小三郎跡之事、御知行不可有相違之由、被仰出候、弥可被励御忠功事肝要候、恐々謹言、

(永正七年)
四月廿六日 憲正(花押)

発知六郎右衛門尉殿

11 上乘院宛書状写(古簡雜纂七)

御上洛之路次如何、無御心元候、抑一心院事、大概無相違相調候処、去年越州へ罷立以来、彼寺領有違乱之族相煩候、口惜存候、然而系^(不)凶御上、於某偏失本意候、雖然於時宜者事成候間、門主之御前、公方様被得上意、被差越御代官等御刷候者、定治部少輔入道建芳も不可及兎角候、拙子も弥涯分可致異見候、不可有御退屈候、抑去六月十二日、於椎屋一戦失利候事、所存之外候、然処長尾六郎・高梨撰津守競来候間、同廿日遂一戦、可諄^(上杉顯定)討死不及申次第候、椎屋一戦以後者妻有之庄ニ某立馬候、國中如此上、不及力関東へ入馬、白井ニ候処ニ、長尾左衛門入道伊玄起逆心、彼同名六郎ニ致一味、沼田之庄内江乱入、号相俣ニ令張陣候間、于今自此方取向候、古河様無御余儀、建芳無等閑候間、別条之子細無之候、伊勢新九郎入道宗瑞、長尾六郎と相談、相州江令出張、高麗寺并住吉之古要害取立令蜂起候、然間建芳被官上田蔵人入道令与力宗瑞、神奈河権現山於取地利、致慮外候間、建芳自身向彼地罷立候、然間^(自)目当方も為勢遣、成田下総守・渋江孫太郎・藤田虎寿丸・長尾孫太郎為代官矢野安芸入道・大石源左衛門同名三人・長尾但馬守為代官成田中務丞、其外武州南一揆之者共罷立候、自去十一日相攻彼権現山、同十九夜中令没落候、然間所々要害令自没候由、注進到来候間、相州口へ先此分候、将又長尾六郎非殺民部大輔房能耳、重而可諄^(上杉)身体如此之条、為家郎亡兩代之主人候事、天下無比類題目候、願関東・越州之為体、幸淵底御存知事候上者、以御次而被達上聞、彼六郎并高梨被加御追代候様、御申奉頼候、然間近国之諸士之方江被成御内書候者、何も可応^(上)上意候、特細川右京大夫・畠山尾張守・大内左京大夫・伊勢伊勢守方、此分寄々有御伝語、可然様ニ申御沙汰頼存候由、届可為肝要候、関越如此之上、剩可諄^(貞睦)討死之間、公方様御上洛御礼可申上候事延引候、弥被失本意候、少も静謐之形ニ候者、可言上仕覚悟候、随而越州松山之儀、被成下御内書候間、先其御礼、又者越州之体如此之次第、為可

達上聞、雖老者候、情木村式部入道差上候、能々有御面談、可然様御取刷、頼入存候、万端難尽筆紙候間、令付与彼口上候由、可得尊意候、恐惶敬白、

(永正七年)
八月三日

藤原憲房

拝呈

(公濟)
上乘院

御同宿中

12 鐙木兵部少輔宛書状写(御府内備考続編二)

对当代々忠儀之上、殊釜形陣以来、別而被摔忠信条、感入候、^(上杉顯定)可諄も同意候き、然間一所可相計由候処、慮外之進退之上、無其曲、雖然非可失其筋目候之間、任本願寺意見、雖少地候、小美野之内古山分并善徳寺分事、先可被相抱候、巨細三富新衛門尉与倉賀野中務少輔可相届候、恐々謹言、

(永正八年力)
二月一日

憲房判

鐙木兵部少輔殿

13 発知山城入道宛書状(発知文書)

大沢右京亮父子去年於上田一戦之時討死、然処名代可相続骨肉無之歟、因茲為近所故、孫子龜寿致彼遺跡、忠儀不断絶様ニと申候哉、殊彼骨肉親類中ニ無抛遺跡可令相続人体罷出申事候者、其時者不及異義可相渡段、以書付申之間、任其義候、彼後家・親類以下ニ無非法之義、順路ニ可成刷旨、能々可加意見候、謹言、

(永正八年力)

七月九日 憲房(花押3)

発知山城入道殿

参考4 天祐院領宛長尾頭方カ禁制写(仁叟寺文書)

制札

上州多胡群天祐院領事、

右、軍勢甲乙人等不可致濫妨狼藉、若有違犯輩者、可処罪科之状、如件、

永正八年九月 日

(長尾頭方カ)
平(花押)

*本文書の発給者は、花押形の類似から上杉顯実(顯定の家督)の家宰長尾頭方と推定される。憲房とは敵対関係にあるが、参考のため収録した。

14 安保丹四郎宛感状(安保文書)

(懸紙上書)

「安保丹四郎殿 憲房」

去六日於小侯城下，被切疵・突疵・矢手之条，神妙候，弥可抽戰功候，謹言，

(永正八年力)

十二月十五日 憲房(花押3)

安保丹四郎殿

15 長年寺宛禁制(長年寺文書)

禁制

右，於上州群馬郡室田之内長年寺，軍勢甲乙人等不可濫妨狼藉，若有違犯輩者，可
処罪科之状，如件，

永正九年六月 日

(花押3)

参考5 横瀬新六宛長尾禪香副状(由良文書)

「『到来永正九年七月九日』亭泉斎

謹上 横瀬新六殿 禪香」

連々御戰功之上，猶以此度之御動共無比類候，因茲成田下総守一跡并親類・同心之
跡之事，御知行不可有相違之由，被進一札候，仍新開跡之事落居，其外之地等者，
追而可申成候，委曲彼口上ニ申入候，恐々謹言，

(永正九年)

七月七日 (長尾景長) 禪香(花押)

謹上 (景繁) 横瀬新六殿

16 小林豊前守宛感状(小林文書)

(懸紙上書)

「『永正九年〈みつのへ／さる〉』

小林豊前守殿 憲房」

為今度之忠賞，白倉備中入道跡事，知行不可有相違候，弥忠信簡要候，恐々謹言，

(永正九年)

十月七日 憲房(花押3)

小林豊前守殿

参考6 子持山宛長尾景英力奉書禁制写(子持山大神記)

禁制

右，於上州群馬郡白井保子持山，当手軍勢甲乙人等不可致濫妨狼藉，若有違犯之輩

者，可被処罪科状，如件，

永正十年正月日 ^(長尾景英カ)
(花押)

*花押形は足利長尾憲長のものに似るが，憲長は元服以前であることから，発給者は足利長尾氏の姻戚である白井長尾景英の可能性が高い。

17 色部弥三郎宛名字状（色部文書）

憲長

永正十年十一月十日

憲房（花押3）

^(憲長)
色部弥三郎殿

18 荏原郡宛禁制写（里見家永正元龜中書札留抜書）

禁制

於武州^(荏)三原郡，軍勢甲乙仁等濫妨狼藉之事，
右，至于違犯輩者，可処罪科之状，如件，

在判

^(十一)
永正三年〈甲戌〉三月五日

参考7 荏原郡宛長尾景長カ奉書禁制写（里見家永正元龜中書札留抜書）

禁制

於武州^(荏)三原郡，甲乙仁等乱妨狼藉之事，

右，至于違犯輩者，可被処罪科之状，如件，

^(十一)
永正三〈甲戌〉五月日 ^(景長カ)
長尾在判

19 中山左衛門佐宛書状（岩城文書）

就会津口之行，去年^(岩城)常隆・盛隆へ申送候之处，懇切之返事，本懐候，当春中砂子原藤右衛門尉，遂本意様ニ一途被加力候者，可為大慶候，依之重而方々へ啓候，能々有御談合，彼口之行，可被相急候，於自今以後者別而可申通候，恐々謹言，

^(永正十二年カ)
正月廿日 藤原憲房（花押3）

謹上 中山左衛門佐殿

20 足利学校本孔子家語題字（足利学校文書）

永正^(十二年)〔乙亥〕^(二月)仲春日

寄進藤原憲房（花押3）

21 明月院衣鉢侍者禪師宛書状（明月院文書）

来三月廿九日，相当文明^(秀成)三十三回忌候，雖斟酌候，可預御燒香候，憑存候，為其以
竜住院申宣候，委曲可在彼口上之由，可令得尊意給候，恐惶敬白，

二月廿八日 藤原憲房（花押3）

拝進明月院衣鉢侍者禪師

*本文書以下，22号文書までは，花押3段階のものであるため，ここに収録する。

22 足利学校本後漢書題字（足利学校文書）

上杉五郎藤原憲房寄進（花押3）

参考8 鑿阿寺宛長尾景長奉書禁制（鑿阿寺文書）

制札

- 一，御堂籠衆可為外陣事，
- 一，籠衆四門之内不可不浄事，
- 一，千度不可廻縁，可為雨落事，

右，於鑿阿寺可守此旨者也，若有違犯之輩者，可被罪科之状，如件，

〔天〕^(永)正十四年十月十日

^(長尾景長)
前但馬守（花押）

参考9 真里谷式部大夫宛大藏院宗好書状写（新編会津風土記七）

就伊勢^(氏綱)新九郎渡海候，御芳緘飛来，令満足候，殊左衛門佐所江御懇牒，怡悦之由被
申候，御両通則屋形江被入披見候之处，於御文体者無御余儀之由，深被成納識候，
時立乱露簡中候間，為御披閱進之候，然者如来翰者，^(足利高基・義明)御両家御和之希望之由，被載
紙面候，如仰蛤乙之諍争，非可被好之候，雖然扇谷^(上杉朝興)之面々数年御和談雖被成執行候，
動者彼刷摸稜之手候間，從当方赤心之挨拶無之，彼擬共被成勸弁思惟候之处，如案
無方程被引付宗瑞^(伊勢)上，味方中郡郡被失曲歩為体候歟，乍去被進御座其国，当方武州
進発候者，是又可為塞翁馬，就中諸家・外様・一揆何ニも自分之抛鬱憤，各令円味，
他国之可被防逆徒分候，去又於此上扇谷^(横瀬)之旁，唇竭齒寒之旨有遠慮，以真実外可被
禦其侮分二候者，此方之義者涯分景繁可被走廻候，肝心者彼窟之御調堅固ニ被仰定，

重而可蒙仰候，爰元之義，六郷左衛門大夫方可有伝達候間，令略候，恐々謹言，

大藏院

(永正十六年)
七月廿八日 宗好
(武田信清)
真里谷式部大夫殿

23 仁叟寺宛禁制写 (仁叟寺文書)

禁制 於仁叟寺軍勢甲乙人等濫妨狼藉之事，
右，至于違犯之輩者，可処罪科之状，如件，

大永二年二月 日

(花押4)

*花押形は憲房の実子憲政の初期型に似る。

参考10 長年寺宛長尾景長カ奉書禁制写 (長年寺文書)

禁制

上州群馬郡室田村長年寺之事，
右，軍勢甲乙人等不可致濫妨狼藉，若有違犯之輩者，可被処罪科之状，如件，

大永二年三月 日

平

*本文書および次号文書の発給者は，足利長尾景長かその嫡子憲長と推測される。

参考11 仁叟寺宛長尾景長カ奉書禁制写 (仁叟寺文書)

禁制

右，於上州甘楽郡多胡庄長根村内仁叟寺，当手軍勢甲乙人等不可致濫妨狼藉，若有
違犯之族者，可被処罪科状，如件，

大永貳年拾月 日

平

参考12 仁叟寺宛某 (長野方業カ) 奉書禁制写 (仁叟寺文書)

制札

右，於上州多胡庄仁叟寺，御方軍勢甲乙中，不可有濫妨狼藉，若此旨違犯之輩，則
可被処罪科之状，如件，

大永二年十月 日 (花押)

*花押形は箕輪長野方業のものに似る。

24 仁叟寺宛禁制写 (仁叟寺文書)

禁制

於上州甘楽郡多胡庄公田村之内仁叟寺，軍勢甲乙人等濫妨狼藉之事，
右，至于違犯之輩者，可処罪科之状，如件，

大永二年十一月 日

(花押4)

25 某 (仁叟寺カ) 宛寄進状写 (仁叟寺文書)

妙龜連々被申置候間，為寺領高具，自分之寄進三千疋之所，自^(永正十七年カ)辰年秋禪相御長老様
進置候，於子孫若彼地成綺候者，丹後守不可為骨肉候，為後日寄進之状，依如件，

(花押4)

*本文書は，花押4段階のものであるため，ここに収録する。

参考13 仁叟寺宛某隆世奉書禁制写 (仁叟寺文書)

禁制

上州多胡庄公田村之内仁叟寺事，
右，軍勢甲乙人等不可致濫妨狼藉，若有違犯輩者，可被処罪科之状，如件，

大永二年十一月 日

隆世 (花押)

26 臼田河内守宛感状 (臼田文書)

眼病之間，用印判候，

先月九日对小田政治，土岐原源次郎^(治頼)・近藤八郎三郎^(勝秀)其外相談一戦之時，励粉骨，息
兩人并親類・被官数輩討死，忠信無比類感入候，於愁傷者察之候，其口本意之上，
可行忠賞候，弥可抽戦功候，謹言，

^(大永三年)
四月十九日 憲房 (朱印)

臼田河内守殿

27 小林平三宛感状 (小林文書)

疵于今然々与無之候哉，能々養性尤候，筋継遣之候，仍湯治事得其心候，謹言，

四月廿二日 憲房（朱印）

小林平三殿

*本文書以下31号までは、年代未詳のためここに収録する。

28 小林平三宛書状（小林文書）

父豊前守死去、絶言語候、心底察之候、為其指越守端首座候、謹言、

四月廿七日 憲房（朱印）

小林平三殿

29 足利高基書状写（国会本喜連川文書）

以代官懇被申候、喜入候、已前以（築田近江守）築近如申遣候、野田右馬助父子及数年緩怠増進之上、加退治候、是非共仁此度可令改易候、巨細英文首座可有対談候、恐々謹言、

七月朔日 （足利）高基御判

五郎殿

30 足利高基書状写（国会本喜連川文書）

山下灰到来、目出度候、巨細（高助）築田八郎可申遣候、謹言、

極月廿一日 （足利）高基御判

五郎殿

*本文書は永正十年以前のものである。

31 里見義豊書札礼（里見家永正元亀中書札留抜書）

恐々謹言、

月日 （里見）源義豊

謹上 （上杉憲房カ）山内殿御宿所

「上卷二者」

平井へ 自房州

（中略）

「上卷二ハ」

自房州

（顯景カ）長尾左衛門尉殿 義豊

大石石見守殿 同

(中略)

此旨預御披露候，恐惶謹言，

月日 出羽守通昌 「師」

謹上 ^(顯景カ)長尾々張守殿

*山内上杉氏の関係部分を掲げた。

32 天王左衛門尉宛書状(高井文書)

為出陣祈禱卷数一合給畢，喜入候，恐々謹言，

大永六年(丙戌)

九月十三日 憲寛(花押1)

上州高井左衛門大夫殿

33 足利義晴御内書写(室町家御内書案下)

^(伊勢貞忠)
「伊勢守調申之」

^(足利義晴)
(花押)

就今度京都怨劇，被召上武田左京大夫之間，不存等閑申合之者，可為神妙候也，

^(大永七年)
六月十九日

上杉とのへ

諏訪上社大祝

木曾猶在之

34 慈眼寺宛書状(慈眼寺文書)

去年以來被励懇祈之段承候，忻悦候，不例于今不思様候，弥被抽精誠候者，可為快然候，仍扇子一本進之候，恐々謹言，

三月十七日 憲寛(花押2)

慈眼寺

*本文書は，花押2段階のものであるため，ここに収録する。

35 守山与五郎宛感状(森山文書)

為先勢其地在陣之由，高田伊豆守注進，於其口各相談戦功，可為感悦候，恐々謹言，

^(享祿三年カ)
五月廿一日 憲寛(花押3)

守山与五郎殿

参考14 仁叟寺某左衛門尉奉書禁制写（仁叟寺文書）

禁制

右、於上州多胡庄之内仁叟寺、軍勢甲乙人等不可致濫妨狼藉、若有違犯之輩者、可被処罪科之由候也、仍執達如件、

享祿三年五月 日 左衛門尉（花押）

*発給者は、憲寛の家臣か、憲房の実子憲政の家臣か、いずれか不明であるが、ここに収録する。

36 三富平六宛感状（志賀楨太郎氏所蔵文書）

今度之忠信無是非候、仍用土新三郎跡赤浜事、知行不可有相違候、謹言、

^(享祿三年力)
十月廿五日 憲寛（花押3）

三富平六殿

37 土肥右衛門尉宛官途状写（中村不能斎採集文書九）

^(懸紙上書)
『『包紙』土肥右衛門尉殿 憲寛』

守同名中務大輔、于今堪忍無是非候、仍官途事、任右衛門尉候、恐々謹言、

十二月三日 憲寛花押

土肥右衛門尉殿

*本文書は、年代未詳のため、ここに収録する。

上杉憲房花押・朱印

花押1



花押2



花押3



花押4



朱印



上杉憲寛花押

花押1



花押2



花押3

